

# パーソナルオーディオシステム

## 取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# SONY

# 主な仕様

<b>CDプレーヤー部</b>				
型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム	電池持続時間		
チャンネル数	2チャンネル	使用乾電池	ソニーニユールスーパー	ソニーアルカリ
ウウ・フラッター	測定限界以下（JEITA*）	測定条件	R14P	LR14
周波数特性	20 - 20,000Hz +1/-2dB（JEITA）	CD再生時**	約1.5時間	約8時間
		ラジオ受信時（JEITA）	約6時間	約20時間

<b>ラジオ部</b>			
受信周波数	FM/TV：76 - 108MHz（1 - 3CH） AM：531 - 1,629kHz		
アンテナ	FM/TV：ロッドアンテナ AM：フェライトバーアンテナ内蔵		
<b>共通部</b>			
スピーカー	フルレンジ：8cm、コーン型3.2Ω、2個 ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個	最大外形寸法	約455×214×180mm（幅×高さ×奥行寸） （最大突起部含む）（JEITA）
出力端子	負荷インピーダンス16 - 64Ω	質量	本体 約3.2kg ご使用時 約3.5kg（乾電池、CD含む）
実用最大出力	2.3W + 2.3W（JEITA/3.2Ω）	付属品	電源コード（1） リモコン用単4形乾電池（2） 取扱説明書・保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）
電源	本体用：家庭用電源（AC 100V、50/60 Hz） 単2形乾電池6個使用（DC 3V） リモコン用：単4形乾電池2個使用（DC 3V）		
消費電力	16W	<b>eco info</b>	● 主なほんだ付けに無鉛はんだを使用 ● 主なプリント配線板にハロゲン系無鉛剤を不使用 ● 包装用緩衝材に再生古紙使用のバブルモールドを使用

# 保証書とアフターサービス

### 保証書

●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
●保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

<p><b>● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/</b></p> <p><b>お客様ご相談センター</b></p> <p><b>● ナビダイヤル</b>……………☎0570-00-3311 <small>（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）</small></p> <p><b>● 携帯電話・PHSでのご利用は</b>　<b>03-5448-3311</b> <small>（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）</small></p> <p><b>● FAX</b>……………<b>0466-31-2595</b></p> <p>受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00 お電話は自動音声応答にてお受けしています。</p>
---

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

# 故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは、右下に記載されているお客様ご相談センターにご相談ください。

### 共通

### 電源が入らない。

- 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消費していたら、すべて新しいものと交換する。
- 乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。

### 音が出ない。

- 音量を調節する。
- ヘッドホンを⌵（ヘッドホン）端子から抜く。

### 雑音が入る。

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している→携帯電話などを本機から離して使用する。

### CD部

### 再生が始まらない。

**CDが入っているのに「no disc」が表示される。**

- CDが裏返し→文字のある面を正面にする。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- レンズに露（水滴）がついている→CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- 乾電池が消費していたら、すべて新しいものと交換する。

### リモコン

### リモコンで操作ができない。

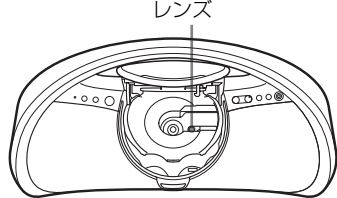
- リモコンの乾電池が消費していたら、新しいものと交換する。
- リモコンを本体へ向けて操作する。
- 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。
- 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

### CDぶたが開かない。

- 乾電池が消耗している。すべての電池を新しいものと交換する。
- 乾電池を交換する前にCDぶたをあける場合は、本体底部のCD LID OPENスイッチを先のがった器具でスライドさせてください。

### 音がとぶ。

- 音量を下げる。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- 振動のない場所に置く。
- CDに傷がある→CDを取り換える。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり、雑音が入ることがあります。



# 使用上のご注意

### 置き場所について

- 本機やCD等を次のような場所には置かないでください。
- 磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- テレビの近く

### 取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

### CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DAフォーマット\*で記録されたCD-R（レコーダブル）とCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
\*CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

### 著作権保護技術付音楽ディスクについて

- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

### DualDiscについて

- DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

### CDの取り扱いかた

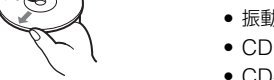
- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となる場合があります。

### CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。

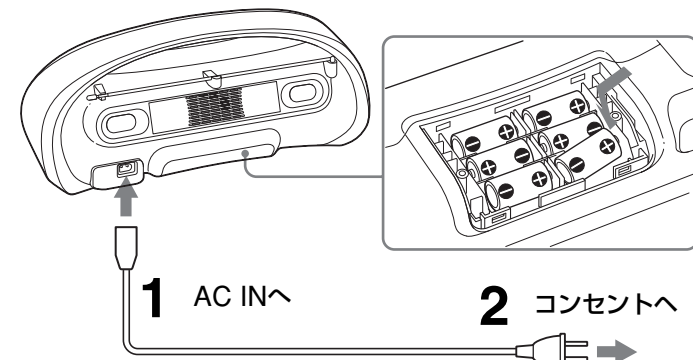


- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

## 電源を準備する

### 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子に差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。



### 乾電池で使う

単2型乾電池6個（別売り）を入れてください。乾電池でお使いになるときは、電源コードは抜いてください。

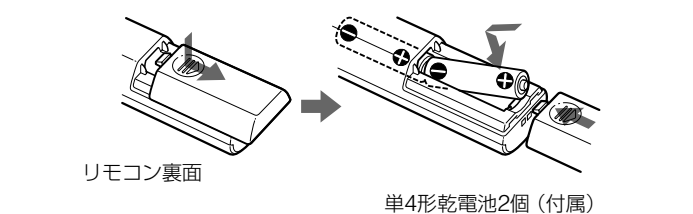
#### 乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源／電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

#### ご注意

- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて傷つくおそれがあります。
- 乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。

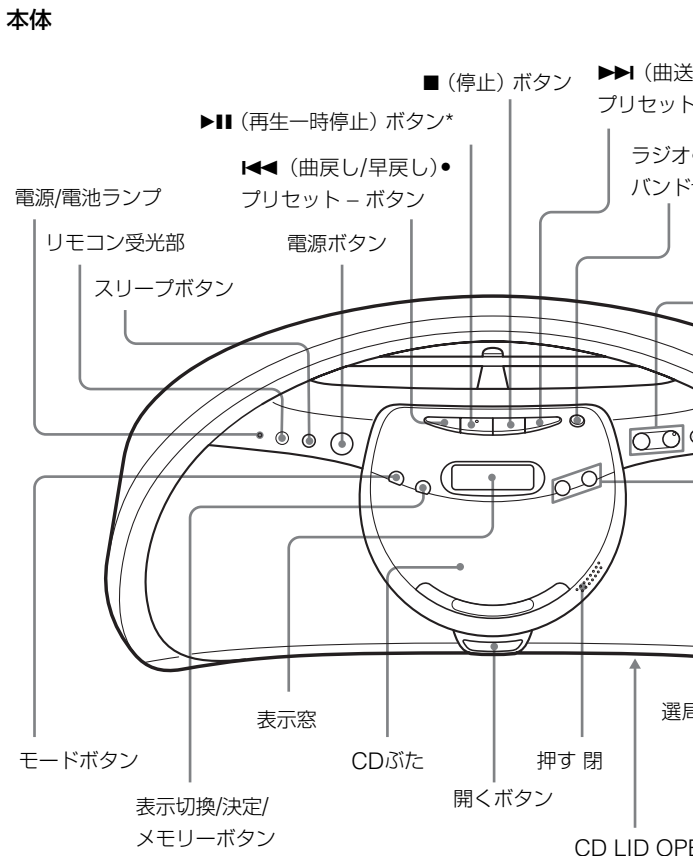
### リモコンに乾電池を入れる



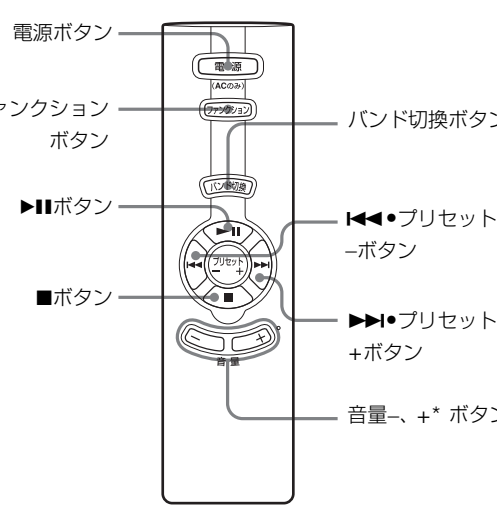
#### 乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ぶつうの使いかたで約6か月もちます。

## 各部のなまえ



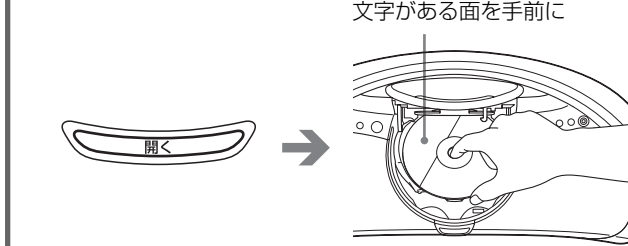
#### リモコン



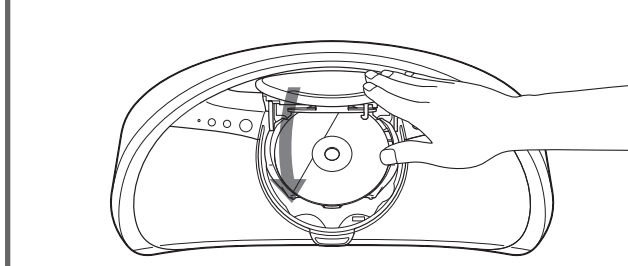
\* 凸点がついています。操作の目印としてお使いください。

## CDを聞く

### 1 開くボタンを押してCDぶたを開け、CDを入れる。

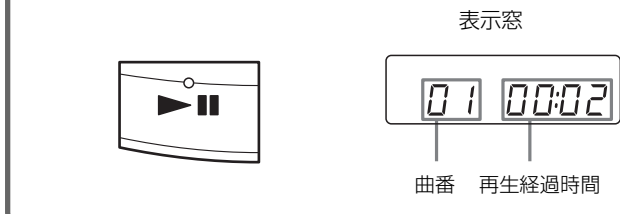


### 2 押す 閉を押してCDぶたを閉める。



### 3 ▶||ボタンを押す。

自動的に電源が入り再生が始まります。



こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量-, +
再生を止める	■
再生中に一時停止する	▶
次の曲へ進む	▶
曲の頭に戻る	◀◀
聞きながら探す	再生中に◀◀または▶  ボタンを押したままにする。
表示窓の再生時間を見ながら探す	一時停止中に◀◀または▶  ボタンを押したままにする。
CDを取り出す	開く
電源を入/切する	電源

### 表示窓の見かた

全曲数と全再生時間を調べるには

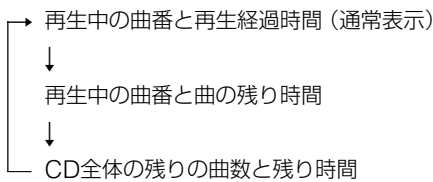
停止中、表示切換/決定/メモリーボタンを押す。



残り時間を調べるには

再生中、表示切換/決定/メモリーボタンを押す。

押すたびに次のように表示が変わります。



### 繰り返し聞く (リピート再生)

#### 1 ■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

#### 2 以下の操作をする。

リピートの種類	操作
1曲だけ繰り返す	1 モードボタンを押して「REP 1」を表示させる。 2 ◀◀または▶  ボタンを押して曲を選ぶ。 3 ▶  ボタンを押す。
全曲を繰り返す	1 モードボタンを押して「REP ALL」を表示させる。 2 ▶  ボタンを押す。
順不同に繰り返す	1 モードボタンを押して「SHUF REP」を表示させる。 2 ▶  ボタンを押す。
プログラムした曲順で繰り返す	1 モードボタンを押して「PGM REP」を表示させる。 2 プログラムしたい順に◀◀または▶  ボタンを押す、表示切換/決定/メモリーボタンを押す (20曲まで)。 3 ▶  ボタンを押す。

リピート再生をやめるには

モードボタンを繰り返し押して「REP」表示を消します。

### 順不同に聞く (シャッフル再生)

#### 1 ■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

#### 2 モードボタンを押して「SHUF」を表示させる。

再生が始まります。

シャッフル再生をやめるには

モードボタンを繰り返し押して「SHUF」を消します。

### 聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生)

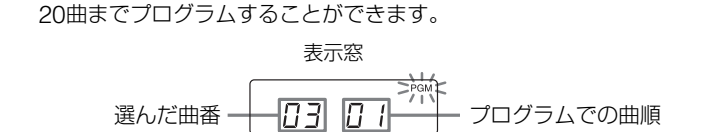
#### 1 ■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

#### 2 モードボタンを押して「PGM」を表示させる。

#### 3 聞きたい順に、◀◀または▶||ボタンを押す、表示切換/決定/メモリーボタンを押す。

20曲までプログラムすることができます。



#### 4 ▶||ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生をやめるには

モードボタンを繰り返し押して「PGM」を消します。

曲順を確認するには

停止中に表示切換/決定/メモリーボタンを押します。押すたびに、プログラムした順で曲番が表示されます。

プログラムを変更するには

再生前には1回、再生中には2回、■ボタンを押して現在のプログラムを消してから、プログラムし直します。

ちょっと一言

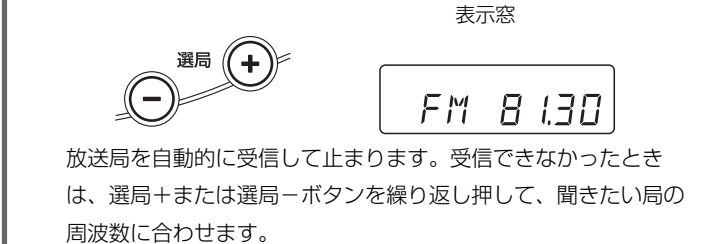
プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶||ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。CDぶたを開けるとプログラムの内容は消えます。

## ラジオを聞く

1 ラジオ・オートプリセット・バンド切換ボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM」(「TV」)または「AM」が出ます。切り換えるときはもう一度押します。



2 選局+または選局-ボタンを押したままにし、数字が動き始めたらず指を離す。

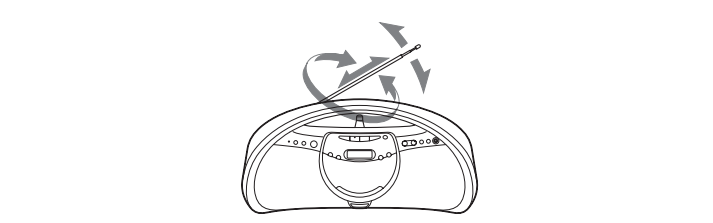


こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量-, +
電源を入/切する	電源

受信状態をよくする

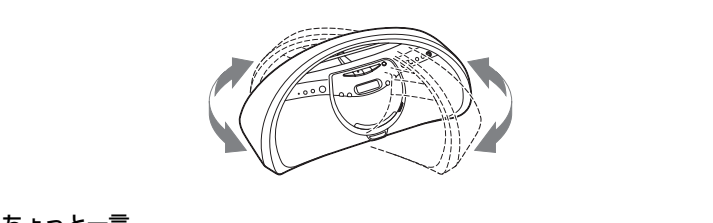
FM (TV1~3ch) 放送のとき

ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。



AM放送のとき

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。



ちょっと一言

- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AM、TV1-3のステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、モードボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。

### 放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号 (プリセット番号) でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局で、合計30局まで記憶できます。

#### 1 ラジオ・オートプリセット・バンド切換ボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

#### 2 ラジオ・オートプリセット・バンド切換ボタンを約2秒間押したままにして、「AUTO」を表示窓に点滅させる。



#### 3 表示切換/決定/メモリーボタンを押す。

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

- ラジオ・オートプリセット・バンド切換ボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
- 記憶させたい放送局を受信する。
- 表示切換/決定/メモリーボタンを約2秒間押したままにしてプリセット番号を表示窓に点滅させる。
- プリセット+または-ボタンを押して、記憶させたいプリセット番号を点滅させる。
- 表示切換/決定/メモリーボタンを押す。

新しい局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

ちょっと一言

記憶させた放送局は、電源コードを抜いたり、乾電池を取り出したりしても消えません。

### 記憶させた放送局を聞く

#### 1 ラジオ・オートプリセット・バンド切換ボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

#### 2 プリセット+または-ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

## 好みの音質で聞く

音楽や聞き方に合わせた音質の設定を選ぶことができます。

## サウンド効果を楽しむ

サウンドボタンを押す。

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

希望の音質を選んでください。

表示	音質
---	ロックなどに。重低音と高音域を増強し、メリハリのきいた迫力のサウンドになります。
---	ポップスなどに。中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。
---	ジャズなどに。低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。
---	ボーカルを聞きたいときに。中音域が強調され、ボーカルをきわだかせます。
---	クラシックなどに。ダイナミックレンジの広い音域を聞くときに適しています。

### 迫力ある重低音を楽しむ

MEGA BASSボタンを押す。

「MEGA BASS」が表示されます。

通常の音質に戻すには、もう一度MEGA BASSボタンを押します。